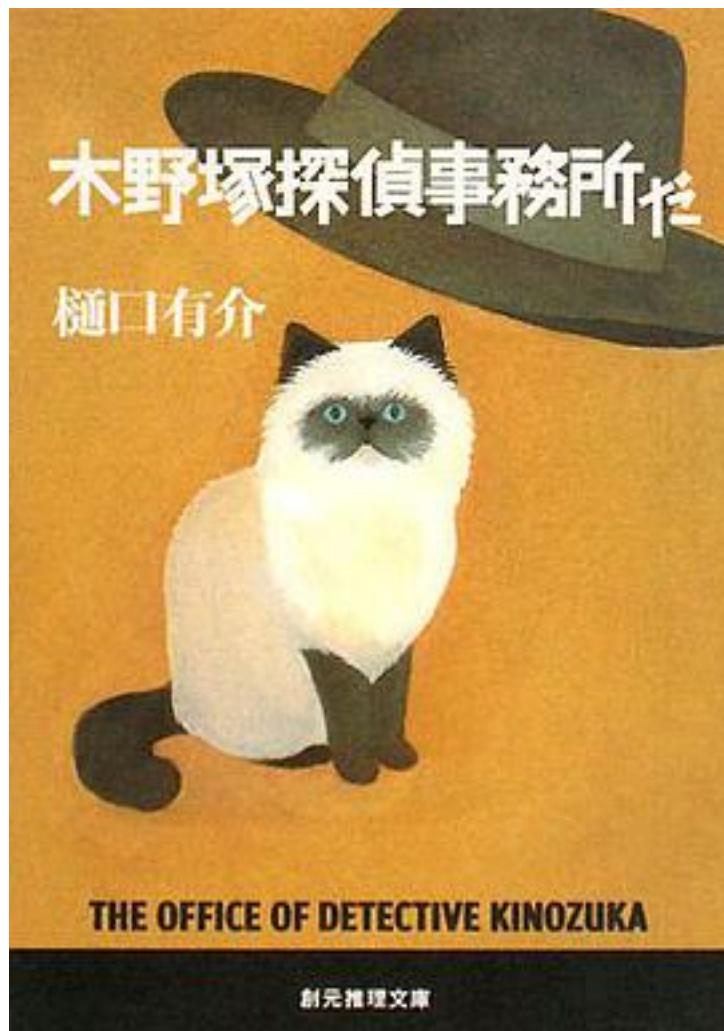


木野塚探偵事務所だ (創元推理文庫)



[木野塚探偵事務所だ \(創元推理文庫\) 下载链接1](#)

著者:樋口 有介

出版者:東京創元社

出版时间:2008-03-11

装帧:文庫本

isbn:9784488459109

経理課一筋37年で警視庁を定年退職した木野塚佐平、60歳。フィリップ・マーロウ

やリュウ・アーチャーなど海外のハードボイルド探偵を崇拜する氏は、自身がコツコツと貯めたヘソクリで探偵事務所を開設する。場所は新宿の裏町、吸えないタバコをポケットに、ニヒルに事件を待つ。しかし、依頼どころかあこがれの美人秘書もやってこない。そんなある日、近所づき合いで掲載した業界紙の広告から、記念すべき最初の依頼が。その事件は、なんと金魚の誘拐事件だった。愛すべき老人探偵の活躍を描く、ユーモア・ハードボイルド連作集。堂々登場、だ!
著者あとがき＝樋口有介／解説＝中辻理夫

作者紹介:

樋口有介（ヒグチユウスケ）

1950年群馬県生まれ。國學院大學中退。88年、『ぼくと、ぼくらの夏』でサントリーミステリー大賞読者賞を受賞しデビュー。『風少女』が第103回直木賞候補となる。『彼女はたぶん魔法を使う』に始まる〈柚木草平シリーズ〉をはじめ、青春味溢れる作品で人気を博す。著作は他に、『林檎の木の道』『雨の匂い』『ピース』『夢の終わりとそのつづき』『捨て猫という名前の猫』などがある。

目録: ■目次

「木野塚氏誘拐事件を解決する」
「男はみんな恋をする」
「菊花刺殺事件」
「木野塚氏初恋の想い出に慟哭する」
・・・・・ (收起)

[木野塚探偵事務所だ \(創元推理文庫\) 下载链接1](#)

标签

樋口有介

评论

[木野塚探偵事務所だ \(創元推理文庫\) 下载链接1](#)

书评

[木野塚探偵事務所だ \(創元推理文庫\) 下载链接1](#)